

JID NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1981 12

“大阪デザイン団体連合”結成

— 3,200 名のデザイナー参加のもとに —

さる10月30日、大阪国際ホテル“いちょうの間”において、河野大阪通産局長、岸大阪府知事、大島大阪市長、および三輪正弘(株)日本インテリアデザイナー協会理事長をはじめとする多数の来賓を迎えて、大阪デザイン団体連合(USD-OSAKA)の発会記念パーティーが盛大に開催されました。

この大阪デザイン団体連合(英文名=UNITED SOCIETIES OF DESIGN-OSAKA, 略してUSD-OSAKA)は、大阪府内にあるデザイン団体が豊かなパートナーシップにもとづいて連携して行動することによって、デザイン界の振興を図るとともに、地域社会の発展向上に寄与することを目的として設立されたものであり、設立にいたるまで2年近い年月をかさねて、各デザイン団体の代表者によって話し合いがもたれたのであり、そのきっかけは、当協会の関西事業支部支部長川崎浩氏がつくったものであります。

当初は、各専門領域のデザイン団体個々の活動のみで、外部からの要求に対応できていましたが、近い将来社会から必ず複合的多様化した要望がデザイン界に求められることを考え、その必要性にこたえるため、まず各団体間の情報交換と親睦に活動の焦点をあてて、デザイン界の連絡機

目 次

● 大阪デザイン団体連合結成	1
● 56・第4回理事会議事録	2
● IFI 総会(ヘルシンキ)報告会開催	5
● 56年度ブロック別デザイン会議	6
● 日本デザイン学会参加雑感	6
● アンケート調査にご協力を	6
● '81デザインフォーラム愛知	6
● 京都デザイン協会記念式典出席報告	7
● サンフランシスコ便り(No.3)	7
● 依田勇夫さんを偲ぶ	8
● 会員の消息	8
● 事務局短信	12

関的なヨコのつながりをもとうということから発議されて準備作業がスタートいたしました。

しかし、その間に周辺の状況変化はめまぐるしく、世界情勢は資源問題や新エネルギー問題等でますます複雑化して、“第三の世代論”や“サバイバル人類論”迄登場し、国内では大阪が活性化をめざして、社会・経済両面での各分野の活動が活発になるにつれ、デザインの役割に大きな注目が集まり、地元デザイン界への期待は急速に高まって来ました。

国際デザインコンクール開催や、大阪21世紀計画などが具体化するにつれて、デザインにかかわる問題には、デザインの各専門領域を受け持つ一つの団体が対応できる範囲をこえて、デザイン界が全体で対応しなければどうにもならない事柄が多くなって来ました。

このことは、かねてからデザイン界が待望していた第二次成長段階への昇り口であり、その意味でデザイン界への外部からの好ましいニーズでもありました。

このニーズを受けて、昭和56年初頭から団体連合発足の機運は、より目的を鮮明にしたことにより一気に盛り上がり、準備活動も活気を持ち、発起人団体による数次にわたる発起人会で大要の主旨をかため、広く各団体に参加をよびかけ、設立準備会の討議の末、10月8日設立幹事会が

開催され正式に設立したものであります。

設立当初、既下記の下記の16団体が加盟し、傘下のデザイナー数は約3,260名に達し、今後さらに加盟団体が増加するものと考えられます。加盟団体から各2名の幹事が登録され、代表1名、常任幹事8名が互選されて運営にあたり、幹事会が最高議決機関として事業計画などを承認します。初代代表は谷川順一氏（大阪デザインオフィスユニオン理事）、事務局は大阪デザインセンター内に置かれます。

設立主旨（一部中略）と加盟団体名（役員名）はつぎのとおりです。

○ 設立趣旨

大阪デザイン団体連合は、大阪府内にあるデザイン団体が連係して行動することによって、デザイン会の振興とともに、デザインを通じて地域社会の発展向上に寄与することを目的に設立いたしました。「中略」

私たちデザイナーは、新しい時代を迎えて、私たちに寄せられる期待の大きさと、「中略」職能としての有効性をより一層向上させたいと思います。

この新たな体制づくりから生れる高密度な職能活動は、各界から期待される新時代創造の担い手として、一端の役割りを果し得るものと確信するところでございます。

1981年10月8日

○ 大阪デザイン団体連合加盟団体及幹事名簿

・事務局 〒541

大阪市東区船場中央2-2 船場センタービル4号館
(財)大阪デザインセンター内 Tel(06)262-5665

団 体 名	英文略称	会員数(名)	幹事名(◎代表 ●常任幹事)
イラストレーターズ「関西」		150	佐藤 貞夫 田中 俊夫
大阪室内装設計士協会	OSG	145	上辻 謹一 ●柏原 秀夫
(協)大阪デザインオフィスユニオン	ODOU	92社(600)	◎谷川 順一 ●西尾 直
スタジオフォトグラファーズ関西	SPK	10	泉谷 茂 藤田 幸一
(社)総合デザイナー協会	DAS	291	斉藤 重孝 千田 甫
(社)日本インダストリアルデザイナー協会関西事業支部	JIDA	158	●大和田 稔 ●多田 愛実
(社)日本インテリアデザイナー協会関西事業支部	JID	89	●樋口 治 ●川崎 浩
日本グラフィックデザイナー協会	JAGDA	92	●沢村 徹 大高 猛
日本サインデザイン協会関西支部	SDA	33	北山 広司 辻本 達広
日本タイポグラフィ協会関西地区	JTA	45	中尾 芳盛 今北 紘一
日本ディスプレイデザイン協会	dda	105	神吉 定 木村 一雄
(社)日本店舗設計家協会大阪地区本部	JCD	297	西脇 顕正 ●山川 勝彦
(社)日本デザイナークラブ関西支部	NDC	150	国松恵美子 段中美恵子
(社)日本デザイン文化協会大阪支部	NDK	941	大菅てる子 崎田喜美枝
(社)日本パッケージデザイン協会関西地区	JPDA	100(25社)	鹿目 尚志 辻本 有邦
ファッションプロフェッショナルグループイン関西	FPGK	74	原田 毅一 近藤 年子

合計3280名117社

昭和56年10月30日(50音順)

(関西：樋口 治)

56・第4回理事会議事録

日 時 昭和56年12月4日(金) 1:30~4:00 PM

場 所 JAA3階会議室

出席者 理事長 三輪正弘

理 事 榎田 均, 川崎 浩, 木村戦太郎,
坂本康四, 垂見健三, 長 大作,
中村圭介, 長岡貞夫, 松本政雄

監 事 渡辺 力

委任状 泉 修二, 白石勝彦, 富田卓司,

樋口 治, 渡辺 優

はじめに議事につき、三輪理事長より説明あり、報告事項より審議に入る。

1. 報告事項

① 次期役員選挙関係

11月25日に日程上の〆切りをしたが、11月27日現在で214通の投票があった。今後の投票分の取扱いについては選挙管理委員会に付託する。定員数189を確保したので、予定通り12月10日に開票となる。以上事務局より報告。

② 大阪デザイン団体連合設立総会報告

去る10月30日、来賓35名、16団体の出席を得て無事設立総会を持った。JIDからは三輪理事長ほか関係者全員が出席した。詳細は樋口理事が「JID NEWS」12月号にて一般会員に報告する。

③ 関西支部でヘルシンキ国際会議とIFI総会報告会

10月30日、上記両会議にJID代表の一人として出席した三輪理事長を迎え、大阪デザインセンター会議室にて、概略報告会が開かれた。詳細報告は追って渉外委員会により行われる予定。

④ 財団国際デザイン交流協会発足

今まで、「国際産業デザインビエンナーレ展準備委員会」として活動して来たが、10月26日、正式に財団法人として発足した。会長に佐伯勇氏が就任、JIDからは三輪理事長が理事の一人に選任された。その他、運営委員に川崎理事、運営委員会(佐治敬三委員長)の下部組織として以下の4委員会が設けられ、JIDからそれぞれカッコ内の委員が委員の一人に委嘱された。総合企画(中村圭介)、テーマ(樋口治)、審査(白石勝彦)、広報(渡辺優)。

以上②~④項は川崎理事から報告された。

⑤ 名誉会員依田勇夫氏逝去

昭和34年、JIDの創立当時から会員となり、一時、監事として事業の発展に協力された。

依田勇夫さんが去る11月14日、逝去された。享年81才であった。晩年足を悪くされ、自宅で静養中の由であったが、まだまだお元気と聞いていたので残念でならない。ご冥福を祈ります。弔問には川崎理事が代表で伺った。

⑥ 借入金完済

去る6月29日、太陽神戸銀行青山支店より100万円の借入をしたが、11月30日5回目の分割返済を終り全額完済した。これに要した利子は18,068円であった。個人保証の労をとった三輪理事長に感謝したい旨、事務局より発言された。

⑦ 財政報告及監査報告

前段、事務局より配布資料に基き10月31日現在の財政状況が報告された。その主な点は、

① 会費収入は平均して対予算実行率65%である。

準会員の納入実行率が38%に留まっている。

② 『日本のインテリアデザイン』関係費目収入は10月31日現在11,000円である。

③ 事務委託費の中、関西支部部分は56年度分全額支払済。

④ 事務局より54・55年度の「過年度未収会費一覧表」が提出された。それによると前回理事会との比較においても、その納入状況は芳しくない。この件について事務局では11月下旬より強力に督促作業を行って来たが、理事各位の協力も併せお願いしたい旨、事務局より要請があった。

⑤ 新マップの頒布状況は良好である。事業の剰余金85,425円が寄附金として入金した。

⑥ 『日本のインテリアデザイン』会計については、88万円程の事業剰余金が出る模様であるが、次回理事会には詳細報告ができる見込。

引続き渡辺監事より監査報告がなされた。「理事会に先立ち11月27日、監査を行ったところ、一般会計、特別会計(ワーキンググループ)とも正当と認めたので報告します」と報告あり、理事会は上記いずれも承認した。

⑧ 協賛関係

以下の2件について、事務レベルでの協賛の用意をした、と報告あり。理事会はこれを了承した。

① '82国際ホテル・レストラン・ショー及併催シンポジウム(57.3.15~19 東京、主催:日本能率協会)

㊤ JIDAデザイン会議 '82東京

〈57.1.21～22 東京 主催：日本インダストリアルデザイナー協会〉

㊥ 第2回東京国際家具見本市報告

JIDでも協賛した上記見本市について、榎田理事より報告された。以下、その要点。

㊦ 世界26ヶ国、約600社の参加を得た。

㊧ 国内出展が数・量の両面で大きく伸びた。また、ディスプレイの面でも意欲が感じられた。

㊨ アジア、東南アジア諸国の参加が前回に比して多く、商談もそれなりに活発であった。

㊩ 初めて併催した木工機械展も大きな商談があった。

Ⅱ. 議 題

① 今後の事業展開について

㊦ 総務委員会（中村委員長）

・1982年JID新春交礼会は1月20日、東京有楽町「グリルトーギョー」2階大ホールで開くよう準備を進めている。

・日本デザイン団体協議会の新春交礼会は例年通り1月8日（金）に東京浜松町の世界貿易センタービル別館4階産デ振ホールで開かれる予定。

㊧ 広報委員会（長岡委員長）

現在95号の編集を関西支部中村（隆）委員が中心になって進めている。96号は再び関東支部の委員で進めるよう現在企画の段階である。

また、従来から使用されている「広告料率表」は昭和52年度のものであるので、茲で改訂（案）を作成したので、審議を提案したい旨、長岡理事より発言あり。議長諮ったところ、全員これを了承。直ちに審議の結果、

- ・現行の約20%程度を増額する。
- ・新たにタテ型1/3欄を設ける。
- ・賛助会員を主対象に割引率を検討、その運用と窓口は事務局に統一して効率化を図る。

以上3点を承認した。尚、企業の場合、毎期の初めに広告予算案を組むのでタイミングを外さぬよう留意することが確認された。

㊨ 渉外委員会（川上委員長）

ヘルシンキ国際会議とIFI総会帰朝報告会を12月11日東京銀座で開く予定。

㊩ 事業委員会

泉副理事長提出の資料に基き、審議された。

・来春1月下旬の第3回インテリアデザインセミナーについては、入金事務をJID事務局で行う他は、財政面の赤字が出た場合の処理などを含め、危険負担のないようにした第1回、第2回と同様の方式で進めることが確認された。

・その他の項目については資料により報告された。

㊪ 業務委員会（垂見委員長）

11月18日の委員会で「アンケート（案）」が終了、来春配布——回収となり、来年度から実際面への作業着手となるう。

㊫ 報酬基準特別委員会

用意された「インテリアデザインの報酬に関するアンケート（案）」が回覧された。設計・デザインと設計・施工の両面から現在会員約50名を抽出、特別の協力を依頼する。また、外部の事務所、企業にも協力を求める。一般会員には「JID NEWS」に特集として同封、周知と協力を仰ぐ予定である。回答が集まり次第、集計作業に入りたい。

㊬ 出版特別委員会（光藤委員長）

年内に委員会を開く予定。

㊭ 教育委員会（島崎委員長）

カリキュラム資料を委員間で討議中。また、IFI教育委員会から今夏の会議・抄録が届いている。

② 事業支部活動状況と今後の計画

㊦ 中部事業支部（松本理事）

10月27日、三輪理事長、小松会員を囲み、IFI報告会、最近の金沢地区のデザイン動静などを中心テーマとして会合を持った。その他11月9日、ブロック別デザイン会議に宇賀支部長出席。11月18日生活用品振興センター主催デザイン研修講座修了式に松本理事出席。11月24日～12月5日の「'81デザインフォーラム」には他のデザイン団体とともに物心両面で協力した。特にデザインフォーラムについては、今後、本部の事業協力を望みたい。

㊧ 九州事業支部（坂本康四）

具体的資料が提出され、以下の計画につき、本部の強力な協力が要請された。即ち、

・57年秋（10～11月）、「会員作品展＋永井コレクション展観展（仮称）」を福岡市美術館の会場確保ができた場合、計画したい。特に永井敬二会員のイス、時計を中心にした豊富なコレクション展観は見応えあるものになると思うので、有力会員の協力による「椅子の講演」なども併せ行な

うなど、J I D主催の多彩なものにしたい。

これに対し、次のような活発な意見が出された。

- ・九州支部以外の会員も参加できるようにしたらどうか。
- ・タイミングを合わせて、機関誌「インテリアデザイン」に特集を組むことはどうか。
- ・九州理事会をタイミングよく開催する案は如何。
- ・作品や展観品の解説パンフを作成、頒布する。

以上の検討も含め、九州支部を中心に早急に事業計画(案)、予算(案)を作成、検討して行くことが承認された。

② 関西支部(川崎理事)

来年度は見学会を計画、会員の事業参加意識を高めたい。1月に大阪市新庁舎、10月に新日航ホテルビルなどを予定している。

③ その他雑件

① 1981 J I D協会賞推薦について

例年通り、12月1日に推薦依頼を会員に発送した。来春1月10日に回収メ切的予定である旨、事務局長より発言あり。

② 野口記念事業について

垂見理事より資料(選考委員会運営部会——田中聰行、中田重克両氏の提案になるもの)に基き、説明が加えられた。これに対し審議された主要点は以下の通り

- ・基本構想(案)に盛られた、対象とされる「学校」の種類、数、地域。
- ・対象とされる学校についての全国組織などについての調査。
- ・新聞社、企業(トンボ鉛筆などに見る)の効用についての調査。
- ・野口賞(仮称)についてのPRの必要性和対策。

③ インテリア研修セミナー

既述の①-③事業委員会の項で確認された通り、赤字負担を覚悟しなければならないことが予想される場合、事業の種類としては適切でない、ことが再確認された。また、開催時期と事前PRを充分検討するよう発言があった。

④ 鐘ヶ江茂則会員の病気

かねてより送付されていた同氏の「病気診断書」が事務局より提示された。これについて理事会は会員規定第8条2項に該当するとして、会費の免除を承認した。

⑤ I F I に対する「国際産業デザインビエンナーレ

展」のJ I Dからの協力要請について

渡辺優理事から寄せられた上記の件については、「国内のデザイン団体の一つとして、理事、委員を参加させているJ I Dとして、国際デザイン交流協会のPRに先立ち、J I D独自も公的に働きかけるべきでは」というものだが、趣旨は理解できるとして、三輪理事長が直接、渡辺理事と接触、時期、方法について話合うこととなった。

④ 入会関係

入 会

氏 名	種 別	推 薦 者
虞 日 鎮(台湾) (ユエン・チェン・ユー)	正 会 員	坂田種男 山本其親代
牧 野 滋	〃	中村圭介・山品 元
中 村 昇	〃 (資格変更)	田中 博・榎田 均

以上の件につき資料に基き審議が行われ、いずれも承認された。次回は57・1・20(水)の予定。

(以上)

付記：年内最後の理事会ということで、引続き1時間程懇親会を開いた。インテリアデザインをとりまくいろいろな話題が出、和やかな雰囲気の中に散会した。

IFI総会(ヘルシンキ)報告会開催

— 関西支部で —

10月30日、2時より船場センタービル、大阪デザインセンター会議室で三輪理事長による報告会があった。賛助会員を含めて7名、デンマークの木造、ブロック、スレートによるローコスト住宅の話しがあり、総会そのものの報告は別として、同時に開かれていたICSID総会でのJ I D Aの国際会議に於ける強力なアピールの方法は我々も今後大いに研究すべきことであろう。

(関西：川崎浩)

56年度ブロック別デザイン会議

— 関西ブロック —

昭和56年度デザイン開発指導連絡協議会（ブロック別デザイン会議）が11月11日、大阪共済会館で大阪通産局の主催で進められた。デザイン行政の現状報告の中で検査デザイン課の三戸課長補佐より、省内デザイン化推進事業の報告があり、いささか鼻を高くした。あらためてプロジェクトの会員諸兄に感謝します。

（関西：川崎浩）

日本デザイン学会参加雑感

今年の日本デザイン学会大会は、10月下旬、会津若松市で開催、東北の紅葉にひかれて参加いたしましたので、その様子をお知らせいたします。

研究発表のテーマは、国際障害者年に当り、それに関するもの、又、コンピューター時代を反映して、コンピューターを使ったデザイン研究などが目立ちました。

例えば、〔障害者の為の生活機器の研究〕。〔無視覚画像に関する研究 — 盲人文字について〕。〔コンピュータ・アニメーションによる人体のモーション、ダイナミックス〕など。

〔インテリアへの伝統色利用の検討〕。〔住空間と装置の研究 — 箱階段の調査と考察〕など、直接インテリアに関するテーマの発表も多くありましたが、何しろ4室において同時に発表が行われていますので、聴講出来ないものも多く、残念でした。

〔ジョイントシステムに関する研究 — 甚五郎国政の指物〕は、「小菊の逆」などの複雑な仕楔（仕口）の研究で、特に興味深く聴きました。構造物というより、彫刻にも似た高い装飾性に、指物師の技を追求する心意義を感じました。

又、〔日本の宗教空間構成 — 山岳宗教寺院の境内構成〕は、室生寺などの、遙拝所から遙拝山までの視仰角などの調査発表で、こんなことを研究している人がいるのかと、感心しました。

日本人または日本文化のつくり出した外部環境の景観とその内に秘む造形基準、価値感などを明らかにするための試みとありましたが、私の古寺巡りに、別の視点が加わった感じです。

松村貞次郎先生の「人とモノとの共感」と題した記念講演があり、夜の懇親会は、会津の地酒と、きれいだころの踊りに、ほろほろと酔いました。

エキスカッションは、本郷焼と漆器工場の会津伝統工芸を見学し、大会は解散となりました。

明治村でお会いした中部の林さん、河内民家見学で御一緒だった関東の広田さんも出席しておられ、旧交をあためました。

市内見物は時間がなく、円通三匠堂（さゞえ堂）だけとは、見学してきました。

このさゞえ堂は、六角堂で中に二つのスロープを組合せ、中心部に厨子を設け、昇り降りする間に、三十三体の観音像を、参拝するように考えられている観音堂です。

二重螺旋状スロープで、同じ所を通らずに、上って、下りてくる楽しい空間体験を味わいました。

それから蔵の町、喜多方を散策し、ローカル線にゆられながら、左右に紅葉、遠く前方に雪山を眺めながら、帰途につきました。

現場仕事におわれている現状の私にとって、感ずるところのあった学会でした。

（関東：高田紀久枝）

アンケート調査にご協力を！

— 報酬基準特別委員会 —

報酬特別委員会では、「JID NEWS」本号に同封のようなアンケートを作成、会員の中から60名の方々を抽出、別送いたしました。

委員会での集計作業の難易は別として、資料は少しでも多い方が実情の反映になると思います。関心の深い会員の方々のご協力をお願い致します。

ご記入上の注意

- ① 返信封筒には必ず支部と会員名を明記して下さい。アンケートは無記名です。
- ② ④分類(I)……青色（デザイン・設計事務所）
⑤分類(II)……黄色（設計施工業）
上記のいずれか一つを選びご記入下さい。（2枚目以降は④、⑤とも共通です）
- ③ 事務局到着希望：昭和57年1月20日

'81デザインフォーラム愛知

— 中部支部で開催 —

中部支部では11月24日（火）→12月5日（土）〈12日間〉JIDA中部支部、中部デザイン協会、中部クリエイター

ークラブのメンバーで実行委員会を組織。愛知県デザインセンター（愛知県産業貿易館7F）に於て '81 デザインフォーラム愛知（'81 Design Forum AICHI）～生活を彩る豊かな商品と優れたデザインを集めて～開催した。

愛知県の産業デザインの振興をはかるため、県内で生産されている生活関連用品を中心に優秀デザイン商品、グラフィックデザイン作品を一堂に展示し、産業デザインの質的向上と一般消費者のデザインに対する理解と認識を深めることを目的とし、陶磁器、雑貨、軽工業機器、インテリア関係用品、グラフィックデザイン作品、パッケージデザイン作品など約300点、会員関係会社の出品などで盛大に開催されました。（中部：堀内啓二）

JIDAデザイン会議'82東京

（社）日本インダストリアルデザイナー協会（JIDA）では、1982年の年次大会を今回は東京で開くことになった。57年1月21～22日の2日間、東京の超高層ビル第1号、霞ヶ関ビルプラザホールが会場となっている。

テーマは「公共環境を考える——鉄道とデザイン」で、世界の最先端的存在とされる日本の鉄道も、日常生活の視点から公共環境の面で眺めると、さまざまな課題を蔵している。これを記念講演（佐貫亦男日大教授）、基調講演（小岩岩太郎芸大名誉教授）と、それに引続き14名のパネリストによる討議が、セッションに分れて進められる。初日の夕刻はレセプションも持たれ、今夏のヘルシンキ国際会議の報告も予定されている。JIDも協賛しているので、その成果を期待したいところ。

・参加申込及び問合せは下記へ

（社）日本インダストリアルデザイナー協会事務局

〒105 東京都港区浜松町2-4-1

世界貿易センタービル別館4F

電話 （03）433-6391～3

京都デザイン協会記念式典出席報告

京都デザイン協会15周年記念式典が11月11日、5時より京都のホテル・フジタで開かれた。会員を80名に増やし、社団法人の認可も下りた、二重のお祝いの会、京都人文科学研究所の吉田光邦教授の記念講演の後、パーティーとなる。ファッション関係の女性会員も多く、声自慢の飛び入りもあり、華やいた会であった。三輪理事長の代理として、川崎が出席。（関西：川崎浩）

サンフランシスコ便り（No.3）

ひと頃は、日本製品の輸出攻勢に悲鳴やら非難やら上げていた米国ですが、その後の「日本ビジネスに学べ」ブームがそろそろさめてきたいま、ようやく日本のデザインにも目が向けられてきたようです。日本の建築やデザインに関する催しものが多くなりました。サンフランシスコで開かれたAIA（米国建築家協会）主催の6×6インターナショナル・アーキテクトと称する建築講演シリーズでは、先頃ロスアンジェルス近代美術館の設計者に指名された磯崎新氏も招待講師の一人で、大変好評でしたし、ウェスタン・アディション講演シリーズでも、近々渡辺ひろし氏が講演することになっています。

10月末から11月の初めにかけてはロスでIDSA（米国インダストリアルデザイナーズ協会）の会議があり、私はブルース・バーディックとともに参加しました。私たちの手がけたハーマン・ミラー社のためのエグゼクティブ用デスクシステムは、このところIDマガジンのデザイナーズ・チョイス、トップ・アワード、IBD賞など数々の賞を受賞していますが、今回も協会からデザイン・エクセレンス・アワードが与えられるとのことで、授賞式に参加したのです。たまたま、この会議にはEast and Westと題するシンポジウムがあつて、日本製品の輸出にデザインがどう関わってきたのか、という点が1つのテーマとして上げられており、JIDAからも何人か参加、パネルやビデオディスプレイなど用いて日本デザインの説明がありました。日米のデザイナー諸氏のお話をうかがいながら、国際化の中の日本デザインについてあれこれ考えさせられたものです。

この会議はJIDの年次総会に相当するものですが、おもしろいのは、4日間の会期中、事務的なことがらは第1日目に済ませてしまい、残る期間は会員外からも多くの参加者を得て幅広いテーマの会議の形をとっていたことでしょう。また今年度の受賞作品や、協会による認定デザイン学校の学生の作品、国際交流の成果などが、実物、スライド、パネルなどを使って展示され、あわせて素材メーカー、器具メーカー、金型メーカー、出版会社などの展示ブースも設けられて、人々をひきつけていました。不評だったのは会場の設定と進行のまずさ。会場となったセンチュリーホテルは高級だけに会場費、宿泊費も高く、参加費の高さを知って参加に二の足を踏んだ人も多かったと聞きます。会議参加のついでに、評判の通称「ガラス聖堂」を見してきました。フィリップ・ジョンソンの設計で1年ほど前に完成したものです。ゆがんだ星型のプランを持つ巨大なガ

ラス・ファサードは、ロス市内にあるシーザ・ペリ設計の
パシフィック・デザイン・センター同様、カリフォルニア
の青空を映し出して存在感を消し去ろうとしていましたが、
維持費が1日20万円もかかるというだけあって掃除に手
が廻りかねるのか、ガラスの汚れが目につきました。内部
は写真で見知っていたのより小さい感じ。それでも、従来
の教会建築のイメージをふきはらった明かるさ、ひろがり
といったものは悪くありません。ガラス建築で知られたフ
ィリップ・ジョンソンは、他方、ポストモダニズムの旗手
として、まったく異質とも思える作品を、いま次々に発表
しています。同様にガラス建築に巧みなシーザ・ペリも、
先日聞きに行った講演会では、ポストモダニズム調の作品
をスライドで数多く見せてくれました。どうやら、このポ
スト、モダニズムという大波、うねりながら大、小の魚を
のみこんで押し寄せてきているように見えます。

(在サンフランシスコ：清水忠男)

依田勇夫さんを偲ぶ

11月14日、名誉会員の依田
さんが亡くなりました。享年81才。
明治33年5月、兵庫県氷上郡の
お生れ。大阪府立西野田工業学校
家具科を卒業され、(先年亡くな
られた鈴木三一さんと同窓)大正
14年に、依田商店を開き、別注家具の製造販売を始
められ、今日に到っている。大阪家具連合会の理事、
日本室内装備設計技術協会の会長等、関連団体の役員
として、常に業界の指導育成に当られ、昭和46年4
月、勲五等瑞宝章を受けられた。文字通りの温厚篤実
な人からは我々の良き先輩であった。協会発足時より
の会員であり、36年の関西支部の企画による「シカ
ゴに行くインテリア展」に、屋久杉の天板に、麻の葉
模様の組子象嵌したテーブルは評判で、特に印象に
残っている。この4、5年は足が弱ったとかで会合に
も出られず、時たま電話でお話しする程度であったの
が悔まれる。謹んで心からのご冥福を祈ります。

(関西：川崎浩)



会員の消息

- ・ 山本棟子(夏に出版しました「インテリアデザイン入
門」(オーム社刊)については前号でお知らせしまし
たが、この出版をよき友人・知人たちが祝って下さり、10

月30日、六本木ホテルアイビスで「山本棟子さん出版
記念パーティー」を開いて下さいました。J I Dの方々
をはじめ、140名の大勢の方々がご出席下さり、大変楽
しい時を過ごすことができました。誌面を借りてお礼申し
上げますとともに、これからも頑張りたいと思いますの
で、よろしくお願い申し上げます。)

- ・ 安藤 孚(この度、下記の所へ転居致しましたのでお
知らせします。お近くへお出掛けの際は是非お立ち下さ
いませ。なお、今後ともよろしくお願い致します。)

〒136 東京都江東区大島8丁目39-22-226

電話 (03)637-8034

- ・ 木柳壽夫(この度、下記の所に転居致しましたのでお
知らせ申し上げます。こちらの方面にお出向きの節はぜ
ひお立ち寄り下さるようお待ち申し上げます。)

末筆ながら皆様の御健康をお祈り申し上げます。

〒356 埼玉県上福岡市川崎2丁目5番2号

- ・ 浅田弘之(どうやら広島土地になれて、落ち着いて
きました。先般、関西支部の樋口治氏から中国地方での
J I Dの基盤づくり等について、話があり、今後も出
来るだけのことをしてみたいと思っています。なお、小
生単身赴任で、家族は泉南市の旧住所におります。昼間
はアパート不在ですので、郵便物、特に書留などは勤務
先に発送していただくのが一番確実に受取れますのでよ
ろしく。)

〔勤務先〕

〒730 広島市中区袋町6-52

鶴高島屋広島出張所

電話 (0822)47-2417

〔現住所〕

〒733 広島市西区中広町2丁目24番5号

サンコーポ中広302号

電話 (0822)94-3449

- ・ 三宅正郎(日増しに寒さもきびしくなりました。いか
がお過しでしょうか。あわただしい師走を迎え何かとお
忙しい事と存じます。さて、私どもでは去る9月15日
に妻昌代が昇天致し、服喪中のため年末年始のご挨拶を
ひかえさせていただきます。一人娘の摩利也と静かに妻
を偲びながら新しい年を迎えようと思っております。時
節柄ご自愛のほど、そして来る年の幸せを心よりお祈り
いたしております。)

- ・ 村口映子(明かりに群がるは、窓に生きる者なのか—
何とも格好よいテーマに群がった10人の仲間で、「不
思議の照明・あかり大好き展」を西武池袋店で12月10
日~25日開きました。ごらんになられた方、ご高評を。

会員の皆様、来年もどうぞよろしくお願いいたします。)

- ・ 金子誠之助 (先月、三輪理事長ご来阪の節は所用の為
お会いできず残念でした。皆々様のお世話にはいつも感謝
致しております。秋の色も深まって参りましたが、お
身体を大切に。)
- ・ 溝口 新 (拝啓、朝夕はめっきり冷えこみ、年末の気
配を感じる頃になりました。会員の皆様には、ご多忙の
毎日と拝察致します。さて9月19日、九州支部では福
岡市美術館で臨時総会を実施し、57年度作品展について
種々協議いたしました。その結果を踏まえ、再度役員会
を開き一応の原案を作成、12月6日、忘年会を兼ねて
年末の臨時総会を持ちました。)
- ・ 玉置豊始 (このたび私宅下記の住所へ転居いたしまし
た。場所は京阪墨染駅より東へ徒歩20分の桃山御陵に
隣接する高台の一角で、醍醐・宇治方面が一望のもとに
みわたせる眺望の良いところです。近くへお越しの節に
はぜひとも御立寄り下さいますようお願いいたします。)

〒612 京都市伏見区深草大亀谷東安信町7番地

電話 (075)643-5991

『新発売ノステンレスのインテリア』

岩崎電工(株)では、ステンレス製インテリアグッズ「ア
イクラフトシリーズ」を発売しました。

建築金物や装飾金属で培った永年の技術を生かし、
オーダー品も承ります。

ステンレス、真鍮、アルミ、鋳物等、すぐれた品質
技術の高さは、すでに「迎賓館」の施工で実証済み。

詳しくは、同封のカタログをご覧ください。

- ・ 尚、問合せは下記へ

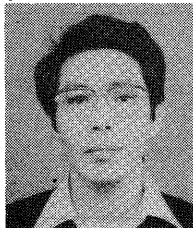
岩崎電工株式会社 渋谷区道玄坂2-16-8

〒150 TEL (03) 464-6401

担当者 徳本正紀・寺本辰男

新入会員の紹介 ● 新入会員

正 会 員

YUEN-CHENYU 虞 日 鎮 (会員番号 501) 	<勤務先・事務所> <自 宅>	11-6, ALLEY 6, 'LANE 166, HSIN-YI RD., SEC. 3, TAIPEI, TAIWAN, R.O.C. (02) 708-5566 同 上
まきの しげる 牧 野 滋 (会員番号 502) 	<勤務先・事務所> <自 宅>	(株)牧野建装 東京都清瀬市松山2-19-7 〒204 (0424) 91-0857, 0866 同 上
なかむらの ぼる 中 村 昇 (会員番号 503) 	<勤務先・事務所> <自 宅>	ファニチャーデザイン ナッカ 札幌市中央区南2条20丁目 ロータリー20・6F 〒064 (011) 642-2625 札幌市南区澄川3条3丁目148-15 〒061-21 (011) 812-6065 ◎ 準会員からの資格変更

●会員の移動

正 会 員

会 員 名	移 動 事 項	新
高 木 敦 子 (関 東) P68	事 務 所	高木敦子設計室 〒166 東京都杉並区高円寺南2-37-20 小林ビル
小 林 喜代政 (関 東) P57	自 宅	〒236 神奈川県横浜市金沢区富岡町1174-177 電話 (045) 771-3866
玉 置 豊 始 (関 西) P130	自 宅	〒612 京都市伏見区深草大亀谷東安信町7番地 電話 (075) 643-5991
浅 田 弘 之 (関 西) P117	勤 務 先 自 宅	(株)高島屋広島出張所 〒730 広島市中区袋町6-52 電話番号(0822) 47-2417 〒733 広島市西区中広町2-24-5 サンコーポ中広302号 電話番号(0822) 94-3449
服 部 緑 (関 東) P85	自 宅	電話番号(03) 397-0838
稲 垣 紘一郎 (関 東) P32	自 宅	〒364 埼玉県北本市大字下石戸下284-1 ハイデンス2-419 電話番号(0485) 91-4935
安 藤 孚 (関 東) P29	自 宅	〒136 東京都江東区大島8丁目39-22-226 電話番号(03) 637-8034

準 会 員

木 柳 壽 夫 (関 東) P175	自 宅	〒356 埼玉県上福岡市川崎2-5-2 電話番号(0492) 63-6906
中 沢 ひろし 西・田 浩 人 (関 東) 新	事 務 所 兼 職	ADESSOデザイン研究所 〒150 東京都渋谷区道玄坂2-18-11 サンモール道玄坂210号 電話番号(03) 462-1769 ADESSOデザイン株式会社

賛 助 会 員

(株)ワコー インテリア ファブリック 事業本部 P218	住 所 担 当 者	〒104 東京都中央区銀座1-7-3 京橋三菱ビル5F 電話番号(03) 564-3221 西 谷 正
---	------------------	---

会 議

〔 11 月 〕

6 日 事業委員会
10 日 広報委員会
13 日 事業委員会
14 日 渉外委員会
18 日 業務委員会
20 日 野口記念基金事業委員会
24 日 報酬基準委員会
26 日 事業委員会
30 日 ワーキンググループ

〔 12 月 〕

3 日 広報委員会
4 日 56・第4回理事会
7 日 ワーキンググループ
12 日 広報委員会

〔 予 定 〕

16 日 事業委員会

寄贈図書（・印寄贈者）

・山本 棟子 著	インテリアデザイン入門	11. 9 オーム社
「集成材建築」編集委員会	集成材の造形とディテール	11. 13 ・エス・ピー・エス出版

事務局短信

- ① 長期予報によれば、今冬の寒波は本格的とのこと。九州にも雪が降り、冬本番を思わせます。
- ② このところ、会員の入院が多いのには胸が痛みます。私事で恐縮ですが、座骨神経痛で苦しむ年の瀬になりました。会員諸兄姉のご自愛を祈ります。
- ③ 12月1日に1981協会賞推薦申請書を発送いたしました。〆切は1月10日です。ぜひ、積極的に推薦を寄せて下さい。
- ④ 恒例のJID新春交礼会の日程が決まりました。1月20日(水)、東京有楽町、ニッポン放送のあるビル——糖業会館2Fの荘重なホールです。昭和14年8月に竣工した由緒を持つものです。総務委員会では新しい趣向で新春に相応わしい楽しい会を企画しているようです。ぜひ

ひ多数で参加下さい。案内ハガキは年内にお手元へ到着の予定です。

- ⑤ 地方在住の会員へお詫び：ここ2年間、遠隔地の会員（約40名）を優先に、凸版印刷株式会社のご好意で実現していた「JIDカレンダー」が、本年は都合がつかず、お送りすることができなくなりました。年間計画表も兼ねていたものだけに、本年も期待していた方がいるかも知れません。お詫び申し上げます。
- ⑥ 事務局の年末年始は次の通りです。ご不自由をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

年内事務：12月26日(土)まで
新年 “ ： 1月 5日(火)より

では、よいお年をお迎え下さいますように。

（山品 元）

J I D NEWS 1981/12

(日本インテリアデザイナー協会月報 1981年通巻第 111号)

毎月 1 回発行 頒価 250 円

編集・社団法人 日本インテリアデザイナー協会総務委員会

昭和56年12月25日発行

中村圭介・川野明・増本敏治・山田晃・山下礼子・

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会

高田紀久枝・杉富士雄・鈴木栄二・山品元・前原誠・

下島資子・佐藤勝・古谷悟嗣・藤川宏允(関西)

印刷所・広洋印刷株式会社

振替・東京 8 - 76389